

園内散策路

🌸🌸🌸 日だまりに咲くオオイヌノフグリ 🌸🌸🌸

明治時代に日本に入ったとされる外来種（帰化植物）オオイヌノフグリです。（写真1）名前の由来は図鑑などではよく紹介されていますので省略します。3月頃



写真1：オオイヌノフグリ【3月 29日】

から園内の日だまりに小さく青い花が散らばるように咲き、枯れ草の中で目につきます。花びらを見ると中央に向かって何本もの濃い線が描かれています。これは真ん中に進めば蜜があることを昆虫に知

らせる道案内をしているのです。同じように道案内している花びらといえばツツジもそのひとつ。（図1）蜜が入っている一番上の一つの花びらだけに斑点模様をつけ（蜜標）

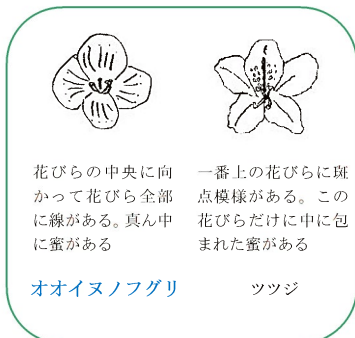


図1：花びらの蜜標

その花びらを見えるようにして昆虫に知らせています。色や模様で昆虫を呼び掛ける工夫していることがわかります。

オオイヌノフグリは、花粉を持つオシベが2本（写真2）お互い向かい合っています。根元に注目してください。根元が細くなっています。これは昆虫が来てオシベに触れたとき簡単に動いて花粉が体に付きやすくなるためです。そして昆虫が真ん中にあるメシベに花粉を付けます。

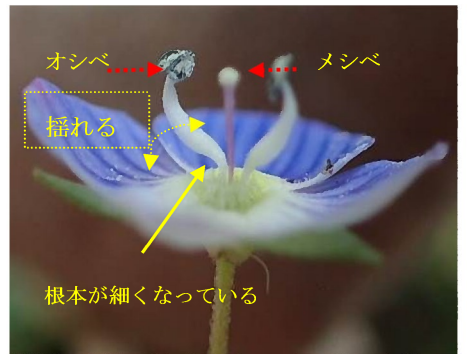


写真2

また一方で昆虫が来なくても夕方に花が閉じるときにオシベ、メシベが触れ受粉する方法も持ち合わせています。小さく青い花、摘み取って花束にしたいのですが、触れると花冠※がポロリと落ちてしまいます。罨（がく）のはさむ力が弱いからです。（あ）

※花冠：ひとつの花の花弁全体

森へようこそ！

厳しい寒さが緩むとそれまで眠っていたものが目覚めたように花が咲いたり芽吹いたりとは様々なものが顔を出してきます。



繰り返される自然のカレンダーは毎年同じではなく、年によって傾向や推移、様子に変化があります。今年はソメイヨシノを筆頭に開花が早いようですが、これからどうなるでしょうか。

季節ごとに出現する自然の営み。お気に入りの花たちに「また会えたね！」と再会の嬉しさと安堵を感じます。



散策路を歩いているとクモの糸が顔にかかり不快になりますが、これも この時期の森の風物詩。クモの巣に注目すると形もいろいろ。隠れた芸術作品です。



芸術作品といえば雨が降ったら素敵なシーンに出会えるチャンス。水のしずくが森を演出しています。



また、目を凝らすと美しい金属光沢の森の宝石のような虫たちに出会うこともあります。



森の中には不思議なものがあふれています。これは何かな？何でだろう？と想像するのが楽しいなあと思います。あちらこちらに近づいて見ると素敵な光景に出会えるかもしれませんよ。(り)



🌸 新年度のご挨拶 🌸 ～青葉の森緑地のレンジャーが交代します～

6年間青葉の森で皆さんと一緒に自然のおもしろさを楽しんでまいりましたが、この度太白山自然観察の森へ異動することになりました。たくさんの方と出会い、楽しい時間を過ごさせて頂きました。お世話になりました。直接ご挨拶できませんでしたが、すぐ近くですのでまたお会いできればと思います。またよろしくお願ひします。

新田隆一（りゅうちゃん）

4月1日付けで青葉の森に赴任しました阿部と申します。以前は太白山自然観察センターで来園者の皆様と接して参りました。青葉の森では初めてで不慣れな場面もあるかもしれませんが、来園者の方と楽しくお話が出来る様にこれからがんばっていきたくと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

阿部 正明

ゴールデンウィークごろの自然みどころ予報

気象庁の発表によると、今シーズン仙台で桜(ソメイヨシノ)の開花が観測された日は3月30日、これは平年より12日、昨年より8日も早い日付となっています。青葉の森緑地の植物を見ている、桜と同様に芽吹きや開花が例年より1週間~10日ほど前倒しになっている模様です。(K)

ソメイヨシノが満開になる時期と重なるように見ごろを迎えるカタクリ(例年の見ごろは4月10日頃)も場所によってはもう花びらを落とそうとしています。(カタクリは一面に咲きそろう見頃の時期を過ぎてしまっても、全ての株が一齐に散ってしまうことはありません。場所によっては4月20日ごろまで花を見ることができそうです。)

<4月下旬から5月上旬にかけて見られる代表的な草花>



<タチツボスミレ> <イカリソウ> <ルリソウ> <シラネアオイ> <チゴユリ> <ニョイスミレ> <マイヅルソウ>

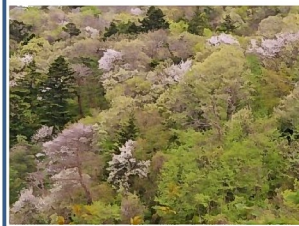
木のお花見散歩マップ

木々の花からも目が離せない! (4月中旬~5月上旬)

カスミザクラ&ヤマザクラが並んで。中央入口のカーブミラー



萌木と桜のやわらかい色が出迎えてくれます。(全域)



ヤマザクラを眺めながらベンチでひとやすみ



この黄色い花は、オオバクロモジ(楊枝に使う香りのよい木)



三居沢入口



より赤っぽい方がヤマザクラ 葉っぱが赤い。



マルバアオダモ



森の花園

トウゴクミツバツツジ



花木広場

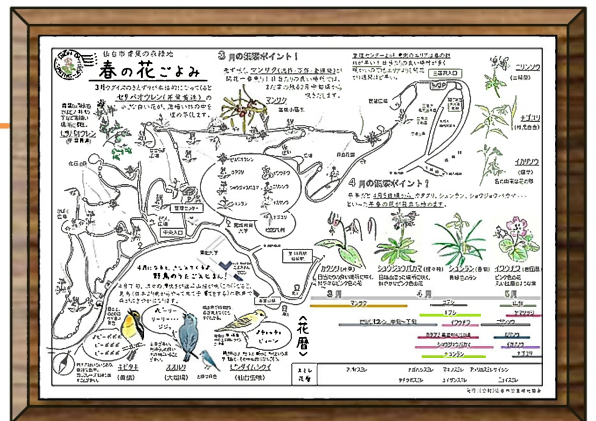
ムシカリ(オオカメノキ)がひっそり。旧わんぱく広場



4月下旬頃までの“見どころ”は、セルフガイドマップ「春の花ごよみ」をチェック!
◆管理センターで配布中!
◆ブログでも見られます。

平成30年3月18日の記事
開催中! 3月の催し「展覧会~青葉の森の四季~」

<http://blog.livedoor.jp/skrk2-aobanomori/archives/74884822.html>



危険な出会いに注意

表紙にも写真が出ていますが、若葉に映える鮮やかな緋色の羽根をまとった大きな野鳥が最近、青葉の森で目に付くようになってきました。この野鳥はヤマドリ(キジ科 山鳥 *Syrmaticus soemmerringii*) のオスでニワトリサイズの大きな鳥です。

きまって「化石の森」～「花木広場」間の散策路に現れ、どこからともなくガサガサと音が聞こえてきて、いつの間にか近寄ってきているというパターンが多く、職員も巡回中によく出会いますが、エンジン付き刈払機で除草していても構わずに寄ってくるので、とても好奇心が強いようです。



出会った方は「とても綺麗だった」と喜ばれておりますが、中には「手をつつかれた」「顔めがけて飛びかかってきた」など威嚇された方もいらっしゃる

ので、手放しで出会いを喜べる状況ではないようです。

普通、ヤマドリは滅多に目にすることができない臆病な鳥なのですが、自分のテリトリーを守るためなのか人間を威嚇してくる個体がいることがあります。ヤマドリのオスは成熟すると脚に鋭い爪(蹴爪)が生え、これでメスをめぐるライバルのオスと闘ったり天敵のキツネを攻撃したりします。この爪は非常に鋭利なので、人が襲われれば怪我をする危険があります。決して無理に写真を撮ったり追い払おうとせず、無視していればいつの間にかいなくなることが多いので、そっと見守ってあげてください。



ヤマドリもスズメバチやヘビなどと同様、自然の一部です。人の側が野生動物に配慮し、散策を楽しんでいただくようお願いします。(千)

これからのイベント予定



イベント名	日時	内容	対象・定員	申込み
森でさがす・みる・きく・初めての野鳥	4月30日(月) 9:00~12:00	初心者を対象とした野鳥の観察と森の散策。	小学3年生以上 15名(先着)	4月10日(火) 午前9時から電話
初夏の青葉の森たんけん!	5月12日(土) 9:45~12:00	若葉が輝く新緑の森で自然に親しむ体験を楽しみながら散策します。	小学生とその保護者 15人(先着)	5月6日(日) 午前9時から電話
季節の花めぐりハイキング	5月26日(土) 10:00~12:30	植物を観察しながら2時間ほどのコースを歩きます。	どなたでも 15名(先着)	5月15日(火) 午前9時から電話
森であそぼう! いきものいるかな?	6月2日(土) 10:30~12:00	未就学児向け自然観察会。森の中をお散歩しながら、昆虫などの生きものを探します。	3歳以上の未就学児とその保護者 15人(先着)	5月16日(水) 午前9時から電話
家族で森あるき	6月16日(土) 10:00~14:30	五感を使って自然の楽しさを味わいながら家族で森を散策します。	小学3年生と保護者 15人(先着)	6月6日(水) 午前9時から電話
オトナの森あるき	6月23日(土) 9:30~14:30	草花や野鳥をながめ木の実の味見しながら散策し、森の楽しみ方を学びます。	高校生以上 15名(定員超過のとき抽選)	6月12日(火) 必着 メール・往復葉書
竹クラフト「骨から作るオリジナルうちわ」	6月30日(土)、 7月1日(日) 10:00~15:00	園内竹林整備で不要になった竹を再利用した竹クラフトです。骨作りからはじめてオリジナルの竹うちわを作ります。	両日とも高校生以上 15名(先着)	6月7日(木) 午前9時から電話

※イベントの日時や詳細などが変更になる場合がございます。必ず「市政だより」をご覧くださいの上お申し込みください。

当園のブログではイベント情報とともに園内の最新情報もお届けしています。ぜひご覧ください! (「青葉の森緑地ブログ」で検索)

季刊情報誌「青葉の森から」第48号 2018年4月10日発行
発行/編集:(公財)仙台市公園緑地協会 青葉の森緑地

青葉の森管理センター

開館時間/午前9時~午後4時30分 休館日/月曜・年末年始

〒980-0845 青葉区荒巻字青葉 260

TEL:022-263-2101 FAX:022-263-2102

地下鉄東西線「青葉山駅」から徒歩 15分

<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/index.html>

